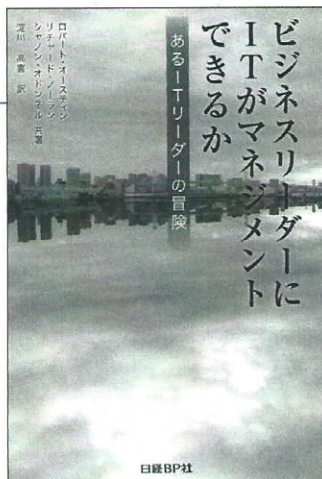


## ITマネジメント

### 『ビジネスリーダーにITがマネジメントできるか』 あるITリーダーの冒険



ロバート・オースティン、リチャード・ノーラン、  
シャノン・オドンネル 著、淀川 高喜 訳  
日経BP社 / 573ページ / 2000円(税抜き) / ISBN978-4-8222-6243-3

### CIOの心得を学ぶ教材に

本書は米ハーバードビジネススクールでCIO(最高情報責任者)の仕事疑似体験する教科書として活用されているという。実際に企業で起こった出来事を小説風にまとめたもので、要所に「考えてみましょう」と問いかけが記載されている。

例えばIT(情報技術)投資に関するニコラス・カーの有名な論文が紹介されていたり、プロトタイプングと呼ばれる開発手法が紹介されていたり、社員がシステムのトラブルについて内情をブログに書いていることが分かりあわてる場面があったり、CEO(最高経営責任者)との信頼関係がいったん壊れかけた

り、ベンダー選定の際にSaaS(サービスとしてのソフトウェア)を検討する場面があったりと、CIOが考えておくべきトピックが数多く盛り込まれている。

本職のCIOならば「CIOの仕事の厳しさはまだこんな程度のものじゃない」との感想を抱くかもしれない。バグの多いパッケージ製品でプロジェクトが危機に瀕する場面もなければ、業務プロセスの見直しで利用部門を説得するのに苦勞する場面もないからだ。それでも自身の状況を客観視することや、スタッフに読ませて議論させることに役立てられる章は必ずあるはずだ。 井上

## コスト削減

### 『世界一わかりやすいコスト削減の授業』



若井 吉樹 著  
サンマーク出版 / 191ページ / 1400円(税抜き) / ISBN978-4-7631-3057-0

### 人を生かすコスト削減

「5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)」や「段取替時間の短縮」「動作経済の原則(ムダな動きを無くす)」など、生産現場の業務改善の基本をストーリー仕立てで分かりやすく解説する入門書。

トヨタグループOBのコンサルタントの下で総額3000億円の在庫削減にかかわった経歴を持つ著者は「人を生かすコスト削減を実践せよ」と主張する。自分たちの仕事のやり方を変えてムダを削ることをせずに、管理を強化したり、安易に外注化したりしてコストを削減しようとしてもうまくいかないことを長年の経験から指摘する。トヨタ生産方式の神髄は“人の血が通った改善活動”にあるのだと、改めて実感させられた。 西頭